

〔特別企画〕

日光の彩色と金工
社寺建築の美しさの謎を解く

The Colors and Metalwork of



Revealing the mystery behind the architectural beauty of its shrines and temples





1 | 日光東照宮陽明門（17世紀・国宝）

このたび東京国立博物館・竹中大工道具館・伝統建築工匠の会の共同主催にて、2025年10月10日〔金〕から12月7日〔日〕の会期で、特別企画「日光の彩色と金工 社寺建築の美しさの謎を解く」を開催いたします。（会場：東京国立博物館 平成館）

世界遺産「日光の社寺」は、17世紀の日本を代表する天才的芸術家の作品群といわれ当時最高水準の建築技術によってつくられました。その魅力は、なんといっても日光東照宮などの圧倒的に絢爛豪華な建築装飾。その輝きは、伝統的な技術を確実に継承し保存修理を繰り返してきた匠の力により受け継がれてきました。

本展では、ユネスコ無形文化遺産として登録された「伝統建築工匠の技」のうち、日光の社寺を彩り、比類のない豪華さを際立たせている装飾技術の「彩色」と「金工」に着目し、その美しさの謎に迫ります。普段は遠目にしか見ることができない、きらびやかな建築装飾の世界と伝統技術の粋をぜひ間近でご鑑賞ください。

この機会に貴紙（誌）にてぜひ記事としてお取り扱いいただきたく、宜しく願い申し上げます。

2025年9月吉日

東京国立博物館
竹中大工道具館
伝統建築工匠の会

名 称 特別企画 **日光の彩色と金工 社寺建築の美しさの謎を解く**

会 期 2025年10月10日〔金〕～12月7日〔日〕

会 場 東京国立博物館 平成館1階 企画展示室・ガイダンスルーム（東京都台東区上野公園13-9）

開館時間 9時30分～17時00分（入館は閉館の30分前まで）

※毎週金・土曜日、10/12〔日〕、11/2〔日〕、11/23〔日〕は20時まで開館

休 館 日 月曜日、10/14〔火〕、11/4〔火〕、11/25〔火〕

※ただし10/13〔月・祝〕、11/3〔月・祝〕、11/24〔月・振休〕は開館

入 館 料 一般1,000円、大学生500円

※東博コレクション展（平常展）観覧料でご覧いただけます。

※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるものをご提示ください。

※障がい者とその介護者各1名は無料。入館の際に障がい者手帳をご提示ください。

主 催 東京国立博物館、竹中大工道具館、伝統建築工匠の会

特別協力 日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社

協 力 日光社寺文化財保存会、社寺建造物美術保存技術協会、日本うろし掻き技術保存会、

金沢金箔伝統技術保存会、石川県箔商工業協同組合、鈴木鋳金具工芸社、

浄法寺歴史民俗資料館、TOPPAN

後 援 日光市、二戸市、金沢市

協 賛 竹中工務店

補 助 令和7年度日本博2.0事業（補助型）（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）

公式サイト <https://nikko.dougukan.jp/tokyo/>



※展示総数：約100点（儀式用大工道具〔国宝〕、建築彫刻〔重要文化財〕、東照宮陽明門組物模型、彩色作品、彩色見取図、鋳金具、製作の道具・材料ほか）

※展示作品、会期、展示期間、開館時間、休館日等については、今後の諸事情により変更する場合があります。最新情報は展覧会公式サイト等でご確認ください。

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM
竹中大工道具館

伝統建築工匠の会
伝統建築工匠の会
UNESCO Intangible Cultural Heritage

JAPAN
CULTURAL
EXPO 2025



唯一無二の国宝大工道具

寛永13年（1636）、日光東照宮寛永大造替の棟梁を務めた甲良豊後守宗広こうらぶんごのかみむねひろが奉納したと伝えられる

儀式用大工道具（道具箱、鉦ちやうな、曲尺2点、墨壺すみつぼ、墨さし2点）。

なかでも龍と唐獅子の精緻な金銀高蒔絵たかまきえが施された道具箱は圧巻の見応えです。



2 | 儀式用大工道具（17世紀・国宝、日光東照宮蔵）

建築を彩る彫刻たち

日光東照宮の修理のため取り外された建築部材（重要文化財）を特別に出品するほか、豪華さ・技術面において最高峰の建築装飾といわれる東照宮陽明門組物の実物大模型を展示します。現地では遠くでしか見ることができない造形を間近でご覧ください。

3 | 東照宮陽明門組物模型（2024 年、竹中大工道具館蔵）

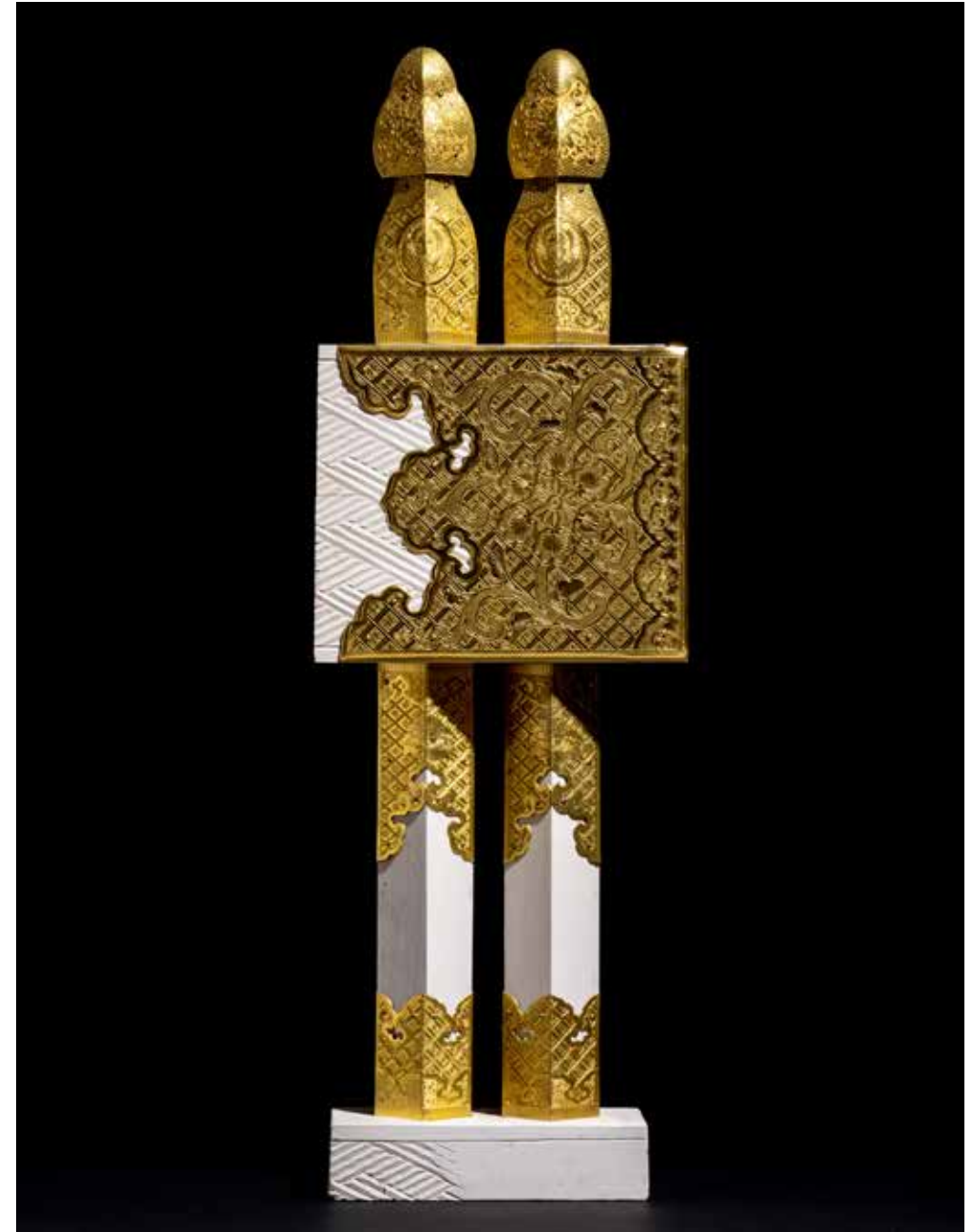


4 | 東照宮下神庫養股（17 世紀・重要文化財、日光東照宮蔵）

きらびやかな装飾を愉しむ

日光の社寺をはじめ、数々の文化財建造物の修理を手掛けてきた工匠によるきらびやかな金工作品・彩色作品の数々が間近でご覧になれます。

5 | 東照宮陽明門金剛柵金具模型（2000 年代、日光社寺文化財保存会蔵）



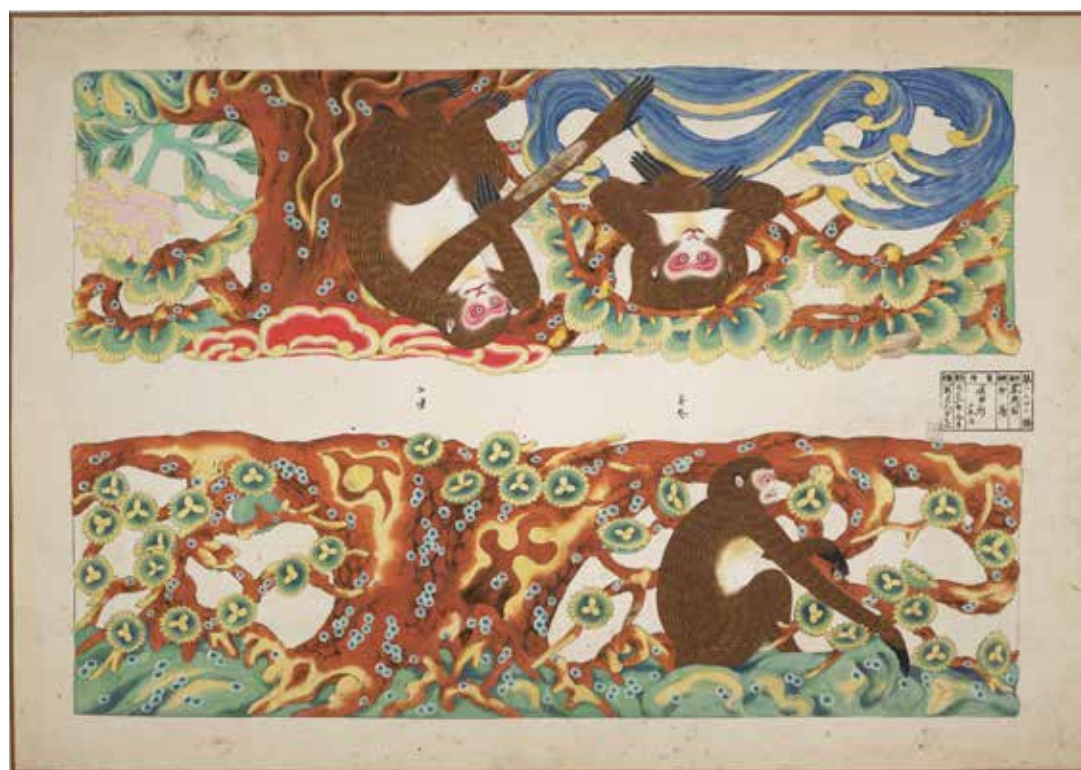
6 | 置上縹網極彩色手板（20 世紀、日光東照宮蔵）



鮮やかな彩色絵の世界

日光の社寺彫刻の修理にあたって、江戸時代より、
将来の修理に備えて色鮮やかな彩色図が描かれていることはあまり知られていません。
修理の副産物である彩色見取図もまた一つの芸術の域に達しています。

7 | 東照宮下神庫蓋彫刻および枇杷板 彩色見取図 (1961年、日光東照宮蔵)



8 | 東照宮神廬欄間彫刻 平彩色見取図 (1922年、日光東照宮蔵)

職人技を詳しく知る

作品展示とあわせて、その製作技法を材料・道具の実物展示と写真・映像で詳しく紹介。
美しさを生み出す職人技の秘密が詳しく理解できます。

9 | 金沢の金箔製造道具 (石川県箔商工業協同組合蔵)



10 | 浄法寺の漆掻き道具 (浄法寺歴史民俗資料館蔵)

1. 実演「日光の彩色・漆箔押し」

日時：2025年10月11日〔土〕 10:30～12:00／13:30～15:00／15:30～17:00、
10月12日〔日〕 10:00～12:00／14:00～16:30

講師：日光社寺文化財保存会

場所：東京国立博物館 平成館1階 ラウンジ

※申込不要・見学自由（当日の入館料が必要）

2. 記念講演会「日光の彩色と金工・支える漆」

日時：2025年11月1日〔土〕 13:30～15:00（13:00開場）

講師：佐藤則武（選定保存技術保持者（建造物漆塗））

場所：東京国立博物館 平成館1階 大講堂

参加費：無料（当日の入館料が必要）

参加人数：先着300名（事前申込制）

申込締切：定員になり次第、終了

3. ワークショップ「伝統的な材料で描く花文様」

日時：2025年11月8日〔土〕 ①13:30～14:30、②15:30～16:30、
11月9日〔日〕 ①10:30～11:30、②13:30～14:30、③15:30～16:30

講師：日光社寺文化財保存会

場所：東京国立博物館 平成館1階 ラウンジ

参加費：3,000円（別途当日の入館料が必要）

参加人数：各回とも小学3年生以上 先着10名（事前申込制）

申込締切：定員になり次第、終了

4. ワークショップ「鍔金具の彫金」

日時：2025年11月15日〔土〕、16日〔日〕
両日とも①11:00～12:00、②14:00～15:00

講師：鈴木鍔金具工芸社

場所：東京国立博物館 平成館1階 ラウンジ

参加費：3,000円（別途当日の入館料が必要）

参加人数：各回とも小学4年生以上 先着10名（事前申込制）

申込締切：定員になり次第、終了

5. 実演「鍔金具の彫金」

日時：2025年11月15日〔土〕、16日〔日〕
両日とも16:00～17:00

講師：鈴木鍔金具工芸社

場所：東京国立博物館 平成館1階 ラウンジ

※申込不要・見学自由（当日の入館料が必要）

6. 実演「浄法寺の漆掻き」

日時：2025年11月22日〔土〕、23日〔日・祝〕
両日とも9:30～12:00／13:00～16:00

小雨決行、荒天中止（テントを立てて行います）

講師：日本うるし掻き技術保存会

場所：東京国立博物館 平成館 前庭

※申込不要・見学自由（当日の入館料が必要）

7. ワークショップ「浄法寺塗でお椀をつくる」

日時：2025年11月22日〔土〕、23日〔日・祝〕
両日とも①10:30～12:00、②13:30～15:00

講師：滴生舎

場所：東京国立博物館 平成館1階 ラウンジ

参加費：24,000円（お椀代・完成後の送料を含む、別途当日の入館料が必要）

参加人数：各回とも高校生以上 先着5名（事前申込制）

申込締切：定員になり次第、終了

《イベント申込方法》

公式サイト（<https://nikko.dougukan.jp/tokyo/>）内よりお申し込みください。



《広報用画像》

- 画像データ1～10(jpeg)をご提供いたします。
- 画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさいください。
- 掲載記事・番組内容について情報確認のためにグラ刷り、原稿の段階で下記広報事務局までFAX送信ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

《お問い合わせ》

本リリースの内容、またはご取材に関するお問合せ

「日光の彩色と金工」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL:078-242-0216 FAX:078-241-4713

E-mail: nikko_tokyo@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして本展図録5部を提供することができます。

来館案内



東京都台東区上野公園13-9

<https://www.tnm.jp/>

【アクセス】

- ・JR上野駅公園口、鶯谷駅南口から徒歩10分
- ・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、
東京メトロ千代田線根津駅、
京成電鉄京成上野駅から徒歩15分

